

令和7年度6月補正予算案の概要

一 総 括

(一般会計補正予算(第2号))

(単位:千円、%)

区 分	既 定 予 算 額	6 月 補 正 予 算 額 (第 2 号)	6 月 現 計 予 算 額 (A)	令 和 6 年 度 6 月 現 計 予 算 額 (B)	(A)/(B)
総 額	511,544,269	22,340,436	533,884,705	533,883,916	100.0

二 主要事業

1 ケアラー支援事業

- ⑧ケアラー支援推進員養成事業費 4,040千円
ケアラーが抱える介護などの悩みや不安の解消を図るため、地域において相談窓口や支援制度に関する情報提供を行うケアラー支援推進員を養成する。
- ⑧仕事と介護両立支援事業費 8,075千円
介護離職を防ぐため、両立支援に対する県内企業の意識や行動の変容を促す取り組みを行う。
事業内容 経営者・管理職向けセミナー等の開催 ハンドブックの作成
- ⑧ポッドキャストを活用した相談・支援接続促進事業費 5,055千円
介護やひきこもり等困難な問題を抱える人を周囲への相談や適切な支援につなげるため、安心して悩みや思いを発信できるポッドキャスト番組を配信する。
- ⑧スクールソーシャルワーカー養成事業費 2,312千円
不登校や家族の介護など課題を抱える児童生徒等に対する支援体制を強化するため、スクールソーシャルワーカーの増員に向けた研修会を開催する。
- ⑧ケアラー伴走支援体制検討会議開催費 445千円
ケアの発生時から支援機関等につながるまでのきめ細かな伴走支援体制の構築に向けた検討会議を開催する。

- ⑧ケアラー相談支援強化事業費 3,300千円
ケアラーに対する相談体制の強化を図るため、介護支援専門員等による電話相談窓口を土日祝日に開設する。
- ⑨ケアラー交流支援事業費 2,398千円
ケアラーの孤独・孤立を防ぐため、ケアラーへの理解や当事者間の交流促進に向けた取り組みを行う。
事業内容 シンポジウム、交流会の開催
- ⑩ケアラー支援機関連携強化促進事業費 1,061千円
複雑化・複合化するケアラーの課題に対応するため、支援機関の対応力強化と連携促進に向けた研修会を開催する。
(財源：生活困窮者就労準備支援事業費等補助金)

2 その他主要事業

- ㊦不妊治療実態調査費 880千円
子どもを望む夫婦が不妊治療を受けやすい環境の整備に向け、より効果的な施策を検討するための調査を行う。
- ㊦子どもの貧困対策緊急食料支援事業費 105,796千円
生活保護世帯及び生活困窮世帯における児童生徒の生活の安定を図るため、夏休み中の食料支援を実施する。
- 高等学校等就学支援金交付事業費 953,800千円
全ての意志ある生徒が安心して勉学に打ち込めるよう、高校生等に対し、所得の状況にかかわらず公立高校授業料相当額を助成する。
(財源：高等学校等修学支援事業費補助金)
既定予算額 3,497,166
補正額 953,800
計 4,450,966
- 高等学校等学び直し支援金 1,571千円
高等学校等を中途退学し高等学校等で学び直す者に対し、所得の状況にかかわらず公立高校授業料相当額を助成する。
(財源：高等学校等修学支援事業費補助金)
既定予算額 3,030
補正額 1,571
計 4,601
- 「道の駅」フラッグシップ化推進事業費 59,387千円
南山梨エリアの高付加価値化を図るため、「道の駅富士川」を核とした地域資源の魅力を発信する取り組みを行う。
(財源：新しい地方経済・生活環境創生交付金)
事業内容 ㊦体験型イベント等のトライアル実施
㊦インフォメーションコーナーの設置 特設サイトの拡充等
既定予算額 10,732
補正額 59,387
計 70,119
- ㊦インド友好交流推進事業費 49,158千円
地域経済の活性化を図るため、ウツタル・プラデーシュ州との技術交流や人的交流等の具体化に向けた取り組みを行う。
事業内容 訪問団の相互派遣 料理人による交流イベントの開催

○ ⑧富士五湖自然首都圏フォーラム・

カリフォルニア州連携強化事業費 21,731千円

域内外の民間との連携により地域の高付加価値化を図るため、水素の活用などで先進的な企業や団体が集積するカリフォルニア州との連携強化に向けた取り組みを行う。

事業内容 訪問団の受入 日米リーダーシップサミットの開催

○ ⑨生活保護受給者等就労準備支援事業費 27,394千円

生活保護受給者等の自立を促進するため、就労に向けた基礎能力形成等の支援を行う。
(財源：生活困窮者就労準備支援事業費等補助金)

事業内容 就労準備支援プログラムの作成 生活習慣の形成支援
職場見学の実施 就労体験の提供等

○ ⑩重度心身障害者医療費後払いモデル推進事業費補助金 32,516千円

重度心身障害者医療費助成制度の受給者の窓口負担を軽減するため、医療費後払いの仕組みを活用したモデル事業を実施する。

補助先 医療費後払い決済システムを運営する事業者

事業内容 システム改修 医療機関への導入支援等

補助率 10/10

○ ⑪病床数適正化支援事業費 410,400千円

効率的な医療提供体制を確保するため、病床数の削減を進める医療機関に対し支援金を支給する。

(財源：医療施設等経営強化緊急支援事業費補助金)

支給額 1床当たり4,104,000円

○ 地域医療介護総合確保基金事業費(医療) 90,913千円

効率的かつ質の高い医療提供体制と地域の包括的な介護支援・サービス提供体制を構築するための事業を実施する。

(財源：地域医療介護総合確保基金繰入金)

I 病床の機能分化・連携の推進 72,787

1 病床機能再編支援事業費 70,224

地域医療構想の実現に向けた病床の再編を推進するため、削減した病床数に応じ給付金を支給する。

支 給 対 象	基 準 額	支 給 額
①山梨市(牧丘病院)	1床当たり1,596,000円	6,384
②峡南医療センター企業団(市川三郷病院)	1床当たり1,140,000円	63,840
計		70,224

2 地域医療構想推進設備整備事業費 2,563

回復期リハビリテーション機能や在宅患者の受入機能等の強化を図るため、医療機関が行う設備整備に対し助成する。

補 助 先 ③社団医療法人峡南会(峡南病院)
富士吉田市(富士吉田市立病院)

事業内容 機械浴槽等の整備

補 助 率 1/2

IV 勤務医の労働時間短縮 18,126

1 地域医療勤務環境改善体制整備事業費 18,126

医師の働き方改革を推進するため、勤務環境の改善に向けた取り組みに対し助成する。

補 助 先 ④国立大学法人山梨大学(山梨大学医学部附属病院)

事業内容 勤怠管理システム等の導入

補 助 率 1/2

○ ⑤米国関税影響等調査事業費 7,224千円

新分野進出や販路拡大等を図る県内企業を支援するため、海外取引の状況や関税の影響等を調査する。

○ 中小企業市場開拓支援事業費補助金 20,000千円

新分野進出や販路拡大等を図る県内企業を支援するため、中小企業等が行う商品開発や市場調査等に対し助成する。

補 助 率 1/2

補 助 額 1件当たり1,000,000円上限

既定予算額 2,000

補 正 額 20,000

計 22,000

○ **メディカル・デバイス・コリドー創生事業費** 21,031千円

医療機器関連産業の集積を加速化させるため、県内企業の米国展開を促進する取り組みを行う。

(財源：新しい地方経済・生活環境創生交付金)

事業内容	⑩カリフォルニア州における企業交流会の開催	⑩PR動画の制作等
既定予算額	94,063	
補正額	21,031	
計	115,094	

○ **産業集積促進助成金** 451,961千円

産業集積の促進及び雇用の創出を図るため、県内に立地して事業を開始した製造業者等に対し、助成金を交付する。

既定予算額	551,297
補正額	451,961
計	1,003,258

○ **G I 山梨・甲州ワイン産地ブランド確立強化事業費補助金** 10,080千円

県産ワインのブランド力向上と輸出拡大を図るため、海外プロモーション等に対し助成する。

(財源：産業振興基金繰入金等)

補助先	県ワイン酒造協同組合
事業内容	⑩海外ワイン専門誌への記事掲載 ⑩シンガポールでのプロモーション ロンドンでのプロモーション
補助率	1/2

○ **⑩デジタル人材育成・就労支援事業費** 30,374千円

非正規雇用労働者の正規雇用化等を促進するとともに、企業のデジタル人材不足を解消するための取り組みを行う。

(財源：新しい地方経済・生活環境創生交付金)

事業内容	生成AIの活用スキル習得のためのオンライン研修、研修修了者への就労支援の実施
------	--

○ **⑩富士山五合目再整備調査検討事業費** 30,853千円

信仰の対象・芸術の源泉にふさわしい富士山を後世に残すため、五合目の再整備に向けた調査検討を行う。

事業内容	基礎調査の実施 将来像の検討等
------	-----------------

○ 教育施設ＬＥＤ照明機器整備事業費 928,433千円

2050年までの脱炭素化の実現に向け、県有施設のＣＯ₂排出量の削減及び県内の取り組みを牽引するため、ＬＥＤ照明機器への更新を推進する。

(財源：脱炭素化推進事業債)

事業内容	更新工事
対象施設	県立学校 総合教育センター
既定予算額	77,481
補正額	928,433
計	1,005,914

○ ㊦不登校児童生徒学習機会創出モデル事業費 5,472千円

不登校児童生徒の多様な学習機会の確保を図るため、ＩＣＴを活用した課題解決型学習(ＰＢＬ)を体験するモデル事業を実施する。

事業内容 ワークショップの開催

〔公共事業費〕

(単位：千円)

区 分	既定予算額	6月補正予算額	計
森 林 環 境	5,113,860	1,648,434	6,762,294
農 政	6,604,822	550,762	7,155,584
県 土 整 備	27,425,013	15,608,744	43,033,757
一 般 公 共 計	39,143,695	17,807,940	56,951,635
災 害 復 旧 費	3,156,238		3,156,238
合 計	42,299,933	17,807,940	60,107,873